



病院だより

令和8年2月号 第459号



昭和医科大学病院

検索



昭和医科大学病院附属東病院

検索

発行 昭和医科大学病院、東病院

発行責任者 昭和医科大学病院長 相良 博典

編集責任者 広報委員長 山岸 昌一

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

TEL: 03-3784-8000 (代表)

就任のご挨拶

昭和医科大学病院 事務部長 おがわ ひでき 小川 秀樹



この度、令和7年12月1日付けで昭和医科大学病院の事務部長および昭和医科大学病院附属東病院の事務長として着任いたしました小川秀樹と申します。

昭和医科大学病院は、1928年の開院以来（昭和医科大学は2028年11月15日に創立100周年を迎えます）、約100年にわたり医療の発展に貢献してきました。その伝統を重く受け止め、本職を拝命し、その責任の重大さを痛感しております。微力ではございますが昭和医科大学病院および附属東病院の発展のため誠心誠意努力していく所存でございますので、皆さま方のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昭和医科大学病院は全国で88の医療機関でのみ認可されている特定機能病院の1つです。特定機能病院は「高度の医療の提供」「高度の医療技術の開発及び評価（研究）」「高度の医療に関する研修（教育）」「高度の医療安全」そして「地域へ医師を派遣する」を実施できる人員配置や構造設備等を有する医療機関であることが承認要件であります。今後、人口減少・少子高齢化が進むなかで、効率的な高度の医療提供においては、特定機能病院は重要な役割を果たす必要があり、医系総合大学である本学の附属病院としてはこれらを高いレベルで適切に実施し、また発展させていく必要があります。

また、高度急性期医療を提供し、東京都区南部の中核病院としての役割を発揮しつつ、地域医療機関の皆さまと一緒に地域医療を支え、「治し支える医療」を実践したいと存じます。

これらを実施していくため、当院の医療機能をソフト・ハードの両面から向上させ、地域住民の皆様に愛され、地域医師会の先生方に信頼される病院として発展していくことが肝要であると考えます。

そのために、昭和医科大学の建学の精神である「至誠一貫」（常に相手の立場に立ってまごころを尽くす）を体現し、病院スタッフの皆様と一緒に昭和医科大学病院・昭和医科大学病院附属東病院の更なる発展を実現していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

よろしくお願いします



※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

1月15日(木)品川区旗の台にある旗岡八幡神社にて、新年の参拝を行いました。

昭和医科大学病院相良病院長、昭和医科大学病院附属東病院村上病院長を始めとする、幹部職員にて昨年一年が無事に過ぎたことへの感謝と今年一年間の安泰と更なる発展を祈念いたしました。



お知らせ

令和8年2月23日(月・祝)の診療体制について

令和8年2月23日(月・祝)の外来診療は以下の通りとさせていただきます。
皆様にはご不便おかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

対象日	診療状況	
	外来	救急外来
令和8年2月23日(月・祝)	臨時診療 【内科系】・【小児科】 8:30~17:00	救急診療は 通常通り実施します。

※臨時診療日は人員を縮小しているため、専門医による診療を提供できない可能性があることを予めご了承ください。

※臨時診療日は、休日加算および時間外選定療養費(注)(8,800円)を徴収いたします。

(注)紹介状持参、当院かかりつけで予め来院指定の患者さんは時間外選定療養費の徴収はありません。



トピック

1月15日(木)新年会を行いました

1月15日(木)グランドプリンス高輪において、新年会を行いました。

医師をはじめ、コメディカル、大学の職員などが一堂に会し、職員同士の結束を深めました。また、今年度、定年を迎えられる先生方の紹介を行いました。先生方からご挨拶をいただいた後、当院より感謝の気持ちを込めて花束が贈呈されました。

先生方につきましては、長年にわたる研究・診療お疲れさまでした。数々のご指導を賜り、ありがとうございました。今後のご活躍をお祈りしております。

なお、来月の病院だよりにて先生方のご挨拶をご紹介します。



昭和医科大学病院副院長 吉田先生



昭和医科大学病院泌尿器科長 深貝先生



昭和医科大学病院リハビリテーション科長 笠井先生

トピック

当院行事食のご紹介



当院での食事は、医師の指示により病状にあった献立とし、行事食を取り入れた温かい食事を提供しております。2月は「節分」を予定しております。今後も季節に合わせた行事食をご提供してまいりますので、ご紹介いたします。

※写真は過去のものです。

トピック

第 87 回日本臨床外科学会学術集会で 「Academic Contribution Award」貢献賞を受賞

医学部外科学講座 消化器一般外科学部門が第 87 回日本臨床外科学会学術集会（11 月 20 日～22 日：東京都 京王プラザホテル）において、「Academic Contribution Award」貢献賞を受賞しました。

「Academic Contribution Award」は、同学術集会上に多数の演題応募を行った施設に授与される賞です。本講座は 53 演題を発表し、最多演題施設となったことから同賞に選定されました。

【医学部外科学講座 消化器一般外科学部門のコメント】

第 87 回日本臨床外科学会学術集会におきまして、当教室が演題数 53 題で日本一の最多演題施設として「Academic Contribution Award」貢献賞を受賞したことをご報告いたします。

～（中略）～

この栄誉を励みに、当教室からさらに多くの知見を世界へ発信できるよう、研鑽を続けて参ります。今回の受賞を出発点として『継承と革新』『一刀入魂』という教室の理念に向かって、心新たに臨床・教育・研究のすべての領域においてトップレベルを目指し、患者さんにより良い医療を提供できるよう、教室一丸となって邁進してまいります。

※全文は当院 HP にて掲載しております。



中央右：吉田寛学会長

（日本医科大学消化器外科教授）

中央左：青木武士教授

（医学部外科学講座消化器一般外科学部門）

トピック

第 79 回手術手技研究会にて指定研究賞を受賞

富岡幸大講師（医学部外科学講座消化器一般外科学部門）が第 79 回手術手技研究会（11 月 7 日～11 月 8 日：大阪府コンgresクエア大阪中之島）で 2024 年度手術手技研究会 指定研究賞を受賞しました。

富岡講師は『手術視覚支援人工知能（AI）を用いた外科医学教育システムの構築』の研究課題を発表し、視覚支援 AI を用いた新しい外科医学教育の可能性を示したことが高く評価され同賞に選定されました。

【富岡講師のコメント】

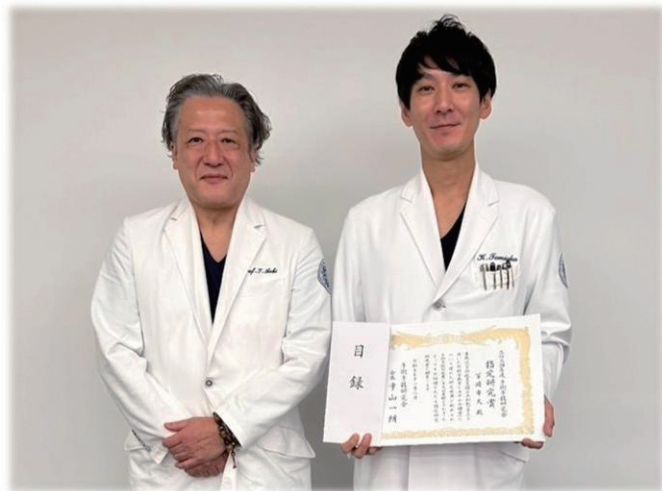
この度は、このような名誉ある賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。

本研究は、青木武士教授のご発案により、肝臓内脈管構造を Color coding することを目的として、手術視覚支援人工知能（AI）システム「EUREKA」を導入し、発展させてきたものであります。

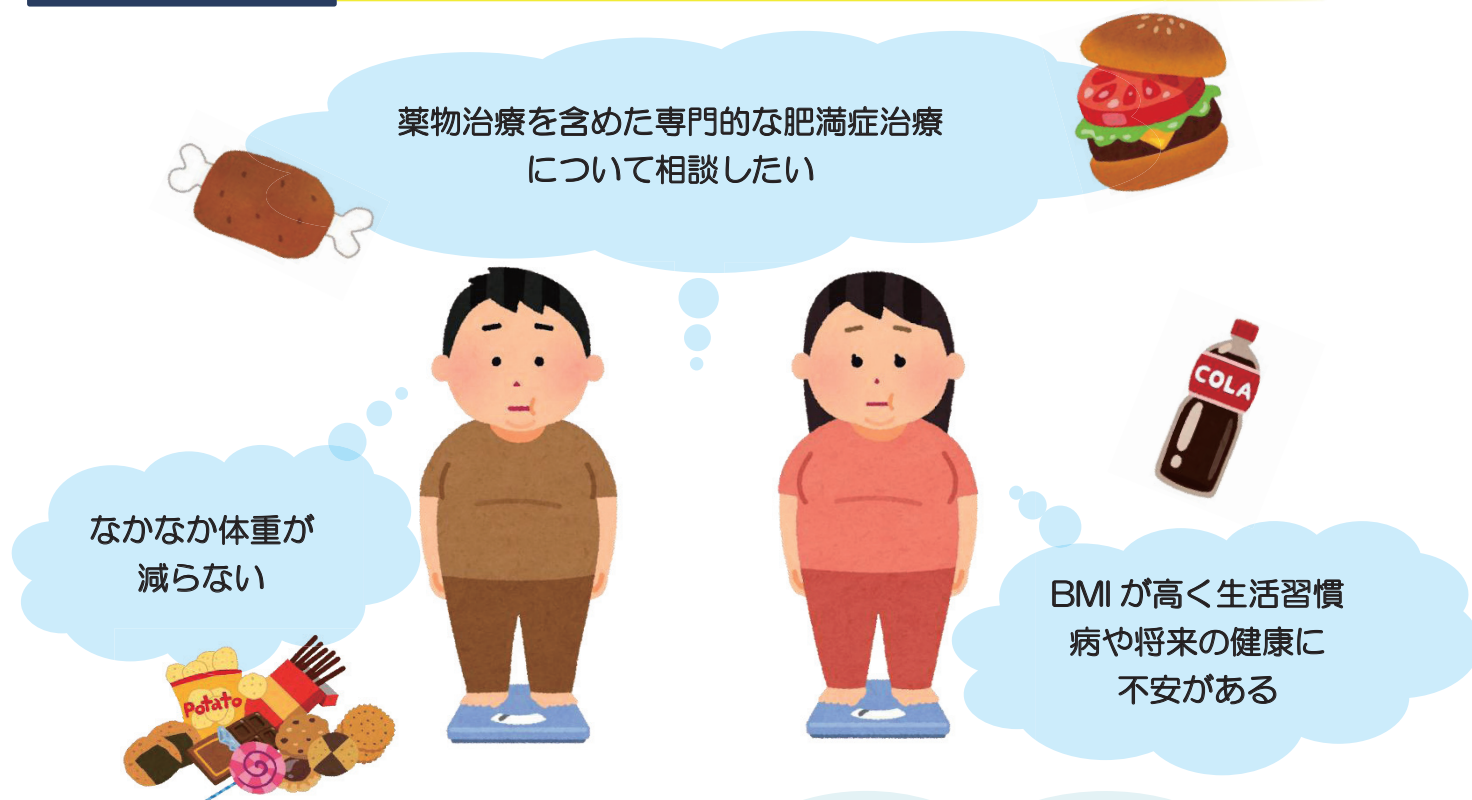
～（中略）～

本研究の遂行にあたりご協力・ご支援を賜りました教室の諸先生方、日頃よりご尽力いただいている手術室スタッフの皆様、日々医学教育に携わる方々に、この場を借りて深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

※全文は当院 HP にて掲載しております。



左：青木武士教授 右：富岡幸大講師



肥満症治療に関する上記のようなご相談にお応えするため、当院では 2026 年 1 月より「肥満症外来」を開設いたしました。

肥満症は単なる“体重の問題”だけではなく、糖尿病、高血圧、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群など、さまざまな健康障害の背景となる重要な疾患です。

当外来では肥満症治療薬の最適使用推進ガイドラインに基づき、肥満症治療の基本である食事療法・運動療法に加え、肥満症治療薬（GLP-1 受容体作動薬等）が保険適用で利用できるかどうかの評価を含め、患者さん一人ひとりの状態に応じた治療方針を丁寧に検討いたします。

初診外来：木曜日 11:00～11:30(完全予約制)

対 象：肥満症および、肥満に関連する健康障害を有する方

(肥満症治療薬の保険適用には条件がございます。詳細は当院ホームページをご確認ください)

費 用：保険診療(詳細は当院ホームページをご確認ください)

申し込みから予約・相談までの流れ

肥満症外来の受診を希望される方

- かかりつけ医からの紹介状をお持ちの方は、昭和医科大学病院 WEB 予約より外来予約希望をご入力ください。内容確認後受診日を医療連携室よりご連絡差し上げます。
- 紹介状をお持ちでない方は医療連携室 (TEL：03-3784-8419) へご相談ください。



当取り組みは、昭和医科大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

放射線技術部から看護部へのありがとう！

放射線治療科外来看護師へ

放射線治療を受ける患者さんに向けて、丁寧でわかりやすい治療前オリエンテーションを実施していただいています。また、患者さん一人ひとりの表情や反応を丁寧に観察し、その情報を共有してくださることで、チーム医療が実践されています。

【患者さんに与えた良い影響】

患者さんの不安が和らぎ、安心して治療に臨める環境づくりに大きく寄与しています。

IVR 検査室看護師へ

IVR 検査・治療を受ける患者さんに対し、丁寧で確かな問診を行い、検査中もこまめに声をかけながらよりそったケアをしてくれています。よりそったケアにより、患者さんが落ち着いた状態で検査・治療を受けられるようになり、私たち診療放射線技師も安心して検査に臨むことができます。

【患者さんに与えた良い影響】

安心感を持って検査・治療に臨むことができ、不安の軽減につながっています。また、看護師の皆さんの落ち着いた声かけやサポートにより、患者さんが検査や治療への協力をしやすい雰囲気が生まれています。

東管理課からリハビリテーション室へのありがとう！

作業療法士・言語聴覚士さんへ

人数が限られている中、勤務日を調整して下さり、日曜日、祝日関係なくリハビリを実施してくださっている。

【患者さんに与えた良い影響】

ADL の早期向上に寄与し、より早く普段通りの生活を送れるようにしてくださっている。

理学療法士さんへ

勤務日を調整して下さり、日曜日、祝日関係なくリハビリを実施してくださっている。

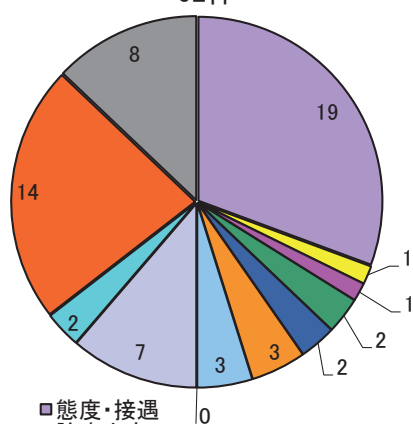
【患者さんに与えた良い影響】

ADL の早期向上に寄与し、より早く普段通りの生活を送れるようにしてくださっている。

日頃よりチーム医療にご協力いただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

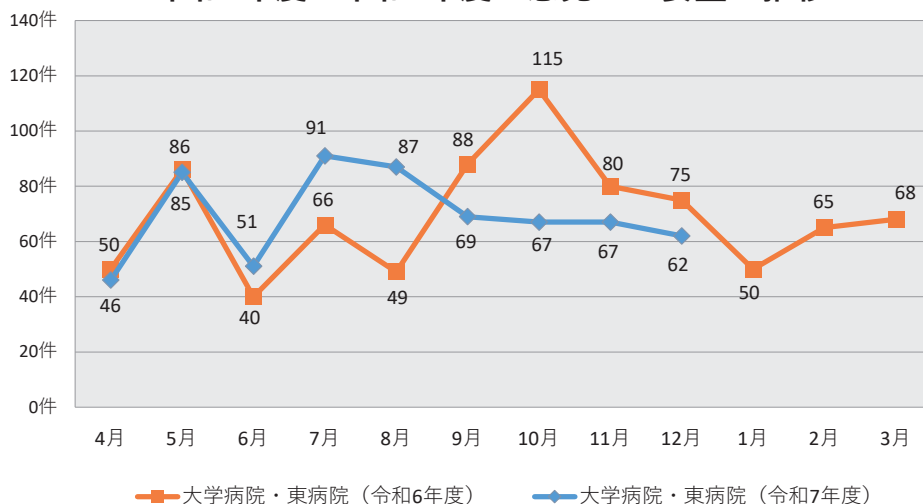
ご意見・ご要望	回答	回答 部署
食事時間が短い。下膳の時間を遅くして欲しい。	この度は下膳の際に不快な思いをさせてしまい、申し訳ございません。現在、配膳終了から30分を目安として下膳させていただいておりますが、下膳担当者がお部屋を回っていても、食事がお済みでない方はゆっくりお召し上がりください。 貴重なご意見ありがとうございました。	栄養科
健診時からお世話になりました先生、助産師の皆様、また、分娩時の麻酔科の方々、本当にありがとうございました。優しい声がけやはげましていただき、とても幸せなお産になりました。	嬉しいお言葉をいただきまして、ありがとうございます。幸せなお出産のお手伝いできましたこと、麻酔科医一同、とてもうれしく思っております。また、患者さんからの言葉は励みになります。今後も無痛分娩や手術の麻酔などで出産のサポートをできるよう、真摯に取り組んでまいります。この度は誠にありがとうございました。 そして、おめでとうございます！	麻酔科

令和8年2月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和医科大学病院・東病院総件数
62件



- 態度・接遇
- 診療内容
- 予約
- 待ち時間
- 面会時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境(清掃・設備備品・エレベーター)
- 環境(駐車場)
- 感謝
- その他

令和6年度・令和7年度ご意見・ご要望の推移



異動

附属施設から

(令和8年2月1日付) ●感染症内科 中谷 真緒 ●小児科 矢野 有紀乃、横井 岳寛

附属施設へ

(令和8年1月1日付) ●リハビリテーション科 山内 智喜

(令和8年2月1日付) ●血液内科 縫 拓也 ●集中治療科 田尻 紗和子

●小児循環器内科 中原 友季

学外施設から

(令和8年2月1日) ●産婦人科 根本 碧

編集後記

しが あさみ
看護師 志賀 麻美

2月は1年の中で寒さが最も厳しく、雪が多い季節です。しかし、暦の上では3日頃に節分、4日頃には『立春』を迎え、春が始まります。寒い中でも日脚が伸び、春の植物が咲き始め、東風が吹き始めます。少しずつ訪れる春を感じながら寒さを乗り切りましょう。

春は動き出す季節です。皆様の新しいご活躍をお祈り申し上げます。



昭和医科大学病院

検索



昭和医科大学病院附属東病院

検索

発行 昭和医科大学病院、東病院

発行責任者 昭和医科大学病院長 相良 博典

編集責任者 広報委員長 山岸 昌一

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

TEL: 03-3784-8000 (代表)

昭和医科大学病院・附属東病院の理念

- ・患者本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和医科大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者さんと共にチーム医療を実践する。
- ・特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- ・教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- ・人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について